

平成30年度 事業報告

少子高齢化の著しい進行に伴い、地域社会や家族の様相は大きく変容し、福祉や生活に対する課題が深刻化する中、家族の絆、地域住民の支え合いの大切さが改めて重要視されています。

そのような中、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、住民相互の支えあいによる「地域共生社会」の実現に向けて、町が策定する「第2期地域福祉計画」と基本理念「地域福祉力の向上」を共有し、「第3期地域福祉活動計画」に基づき、地域住民と共に考え、互いに協力し課題解決を図りながら、重点取り組みとして「地域福祉活動計画の推進」「多職種連携によるプラットフォーム形成の構築」「災害にも強い福祉の地域づくりの推進」「生活支援コーディネーター事業の推進」「福祉生活サポートセンターの機能充実」「介護支援事業による在宅生活支援の推進」を推進しました。

また、社会福祉法人制度改革により、全ての社会福祉法人に対して経営組織体制の強化などが求められ、あわせて、地域における公益的な活動の実施が社会福祉法人の責務となり、今後も美郷町における地域福祉を推進する責任ある団体として、健全で効率的な社協組織体制の確立を図るため、これまでの「組織体制整備計画」「職員定数適正化計画」の見直しを行い、「第1次中期経営計画」「第2次職員定数適正化計画」を策定しました。

1. 地域福祉活動計画の推進

「地域福祉力の向上」を目指した3つの基本目標を推進するため、6つの取り組み目標により事業を展開しました。

【基本目標1 セルフケアの推進】

地域における出会いとつながりの場をつくり交流活動を活性化させ、地域において「絆」や「つながり」を維持続けることができるよう、一人ひとりが地域に関心を持ち、自立生活を営む力・お互いを支えあう力の理解を深めました。

◎取り組み目標1「地域福祉を支えるひとづくり」

- ・地域福祉座談会の開催
- ・社会福祉大会の開催
- ・福祉教育活動の推進

◎取り組み目標2「住民参加ふれあい支援」

- ・地域住民グループ支援事業の推進
- ・単身老人日帰り旅行の開催
- ・介護者交流会の開催
- ・生きがい活動支援通所事業の実施
- ・老人福祉センター「雁が音苑」受託管理

【基本目標2 地域包括ケアの推進】

誰もが安心して安全に暮らせるために、福祉サービスの適切な利用ができる体制づくりを進めました。相談関係機関の情報共有により相談ネットワークシステム体制の充実強

化、顔の見えるつながりあえる多職種協働による支援体制の連携システムづくりを進めました。

◎取り組み目標3「安心な暮らしを支える体制づくり」

- ・総合相談事業による相談機能の強化・日常生活自立支援事業の推進
- ・福祉あんしん電話事業の推進
- ・配食サービス事業の実施
- ・一斉除排雪活動の推進
- ・資金貸付事業の実施
- ・介護保険事業、障がい者福祉事業の実施 他

◎取り組み目標4「地域福祉トータルケア推進事業の強化」

- ・フォローアップ事業の推進
- ・生活支援コーディネーター事業の推進
- ・「まめだ屋」の運営
- ・緊急一時支援事業の推進

【基本目標3 地域共生社会の推進】

ネットワーク活動を基盤にアウトリーチ（地域に出向く）を徹底し、住民同士がその解決に向けた新たな生活支援活動を開発・行動できる体制強化や地域での「気づき」を「つなぐ」見守り支えあい活動による、地域・住民・関係機関の協力による災害支援ネットワーク機能の強化を図りました。

◎取り組み目標5「ともに支えあう地域づくり」

- ・セーフティネット事業（認知症SOS）の推進
- ・在宅介護支援センター（千畑地区）事業の推進
- ・ネットワーク活動の推進
- ・ボランティアセンターの運営
- ・みさと福祉センターの管理運営 他

◎取り組み目標6「組織財政基盤の整備」

- ・理事会、評議員会、監事会の開催
- ・各委員会の開催
- ・共同募金事業への協力 他

2. 多職種連携によるプラットフォーム形成の構築

広範多岐にわたる心配ごとや悩みごとを受け止め、総合的かつ迅速に対応できるよう医療機関、地域包括支援センター・介護関係者、社会福祉協議会等の多職種による連携を図りました。

生活困窮者の緊急一時支援として、コープ東北サンネット事業連合会（仙台市）の「コープフードバンク事業」の協力により、現物支給による支援体制の充実を図りました。

若年層への支援として「県南若者サポートステーション横手」による出張相談をみさと福祉センターで継続実施し、若者の就労支援相談体制の連携強化を図りました。また、NPO法人KOU主催による「あきた若者サポートステーション若者の居場所作り事業」を共催し、月2

回まめだ屋を活用し閉じこもりの若者が気軽に集える場所づくりを支援しました。

社会福祉協議会の最大の強みである「つながりをつくる支援」、個別支援と地域組織化ネットワーク活動を基盤にアウトリーチ（地域に出向き）を徹底し、住民の多様な生活課題に向き合い、地域住民同士がその解決に向けたあらたな生活支援活動を開発・行動できる体制の取り組みを強化し、「一人の不幸も見逃さない運動」を推進しました。

3. 災害にも強い福祉の地域づくりの推進

今年度は、大雨や台風等の自然災害が多数発生し、非常災害防止体制の確保及び避難・通報体制の確保など地域住民の避難場所や災害ボランティアセンターとして「みさと福祉センター」が地域の支えになれるよう職員共通認識による施設の役割機能強化を図りました。

5月に発生した大雨災害、9月の台風21号24号では、町内巡回により要援護者等災害状況確認を行いました。美郷町においては災害ボランティアセンター開設までには至りませんでしたが、5月大雨被害の大きかった秋田市社会福祉協議会災害ボランティアセンターに職員を延べ5日間にわたり派遣し活動を支援しました。

緊急事案に対する協力体制の強化として、特殊詐欺被害や高齢者交通事故の多発により大仙警察署と連携しパンフレット配布等により被害・事故防止啓発活動を実施しました。緊急支援「認知症SOSおたすけネットワークシステム」では、新一斉メールシステムへの移行を不備なく進め、SOS通報発信は1件、システム登録者は17名、協力機関104社により認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを推進しました。

4. 生活支援コーディネーター事業の推進

生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、地域サロン座談会で地域の自慢できることや地域課題について住民との話し合いによるニーズ把握を実施しました。また、おたすけマン、シルバー人材センター、技能専門業者と情報交換を実施し、生活支援サービスの項目やルールの整理を行い、美郷町生活支援体制整備協議体会議に報告、地域で必要とされる生活支援サービスの開発にむけて協議しました。

5. 福祉生活サポートセンター機能充実

日常生活自立支援事業による「福祉生活サポートセンター」を設置、専門員1名（兼務）を配置し、生活支援員3名（各地区）とともに判断能力が弱まってきた高齢者等を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭の管理を行い、住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるよう支援しました。

6. 介護保険事業による在宅生活支援の推進

障がい福祉サービスも含め在宅サービス利用回数の減少や人材確保の困難により運営状況が厳しい局面にありますが、「秋田県介護サービス事業所認証評価制度」認証事業者として生活支援や身体介護を必要とする方々が可能な限り自宅において、日常生活を営むことができるよう職員のスキルアップを図り決め細やかなサービス展開に努めました。

次年度は、地域福祉を推進する責任ある団体として、地域組織、社会福祉法人、福祉サービス事業者等と互いに交流し、連携することにより、これまで以上の大きな活動展開が図られるよう、さらなる地域福祉の醸成を目指します。また、健全で効率的な社協組織体制の確立を図るため、第1次中期経営計画により事業、組織体制、財政面を検証し、必要な改善策を講じることに努め、法人全体の効率化・生産性の向上、経営の効率化を推進します。

【平成30年度各事業実施状況】

【取組目標1：地域福祉を支えるひとづくり】

事業名	福祉座談会	91,000円
実施内容	<p>◎福祉協議会活動に対する理解を深めてもらうとともに、ニーズ把握に努め、地域の課題・課題について住民の共通認識を図った。</p> <p>◎テーマ：「誰もが安心して暮らせる地域づくり」</p> <p>◎開催期日：11月1日～11月2日 9会場（ふれあいサロン実施地区）</p> <p>◎参加者数：91名</p>	
事業名	社会福祉大会	698,000円
実施内容	<p>◎大会を通して、社会福祉協議会活動への理解を深め福祉意識の高揚を図った。</p> <p>◎第15回美郷町社会福祉大会 7月19日開催 会場：美郷町公民館 参加者：330名</p> <p>テーマ：「つながりを力に ～安心・安全な地域 美郷をめざして～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典 ・講演 「笑うあなたに福きたる」 講師 石垣 政和 氏 ・アトラクション 六郷高等学校吹奏楽部による演奏会 <p>◎秋田県社会福祉大会 10月15日開催 会場：秋田市文化会館 参加者：19名</p> <p>記念講演 「孤立と困窮のないまちづくり」 中央大学法学部 教授 宮本 太郎 氏</p>	
事業名	福祉教育活動推進事業	585,900円
実施内容	<p>◎町内各校のJRC活動を推進、福祉活動への関心を高め、児童生徒の福祉意識の高揚を図った。</p> <p>◎町内5校（小・中・高）の福祉教育への取り組みへ助成金を交付した。 （仙南・六郷・千畑小学校各10万円、美郷中学校15万円、六郷高校10万円）</p> <p>◎福祉教育推進連絡協議会：4月26日</p> <p>◎サマースクールの開催：7月23日～7月24日 参加者数延べ49名</p> <p>◎六郷小学校4年生総合学習支援（未来の福祉を描く・疑似体験・車椅子体験）：4月26日、7月6日</p>	

【取組目標2：住民参加ふれあい支援】

事業名	地域住民グループ支援事業	1,489,312円
実施内容	<p>◎町内会館等を利用し、地域のボランティアが自主的に運営する「ふれあいいきいきサロン」を支援し、高齢者の生きがいづくりや孤独感の解消を図った。実施地区1ヶ所に活動助成金20,000円を交付した。</p> <p>◎サロン開催を毎月積極的に実施しているサロン地区には、10月の中間報告で確認し特別加算活動助成金20,000円を交付した。</p> <p>◎サロン実施地区は60箇所、特別加算活動助成地区は14箇所</p>	
事業名	単身老人日帰り旅行	349,006円
実施内容	<p>◎一人暮らし老人を対象に日帰り旅行を実施、仲間作りをしながら閉じこもり予防と交流を図った。</p> <p>◎実施日：10月11日（木）</p> <p>◎場所：ホテルテトラリゾート秋田横手温泉</p> <p>◎参加人数：67名</p>	
事業名	介護者交流事業	179,245円
実施内容	<p>◎在宅において要介護度4以上の方を介護している家族を対象とし、介護者同士の交流により親睦とリフレッシュを図った。</p> <p>第1回： 6月23日（土） 場所：五輪坂温泉としとらんど 参加者：5名</p> <p>第2回： 11月4日（日） 場所：横手ゆうゆうプラザ 参加者：6名</p> <p>第3回： 3月9日（土） 場所：千畑温泉「サンアール」 参加者：10名</p>	

【取組目標2：住民参加ふれあい支援】

事業名	生きがい活動支援通所事業	9,730,434円
実施内容	<p>◎おおむね65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない方を対象として、通所により各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図り、要介護状態への進行を予防した。</p> <p>◎利用者数：91名（千畑：18名、六郷：16名、仙南：57名）</p> <p>◎延べ利用人数：3,239名（千畑：641名、六郷：538名、仙南：2,060名）</p> <p>◎仙南地区では、温泉ポンプの故障により24日間入浴を実施できなかった。</p>	
事業名	老人福祉センター「雁が音苑」の受託管理	120,000円
実施内容	<p>◎高齢者の健康を増進し、教養を高め高齢者ができる限り介護者状態に陥ることなく健康で生き生きとした生きがい活動のための便宜を総合的に供与し、老人福祉の増進を図った。</p> <p>◎貸出利用件数：10件、利用者数：238人</p> <p>◎老人福祉センターを会場とした生きがい活動支援通所事業（仙南地区）の実施。</p>	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	総合相談事業	411,738円
実施内容	<p>◎みさと福祉センターを相談会場とし、町内の相談機関等が連携を図り日常生活や専門的な相談に応じ、町民生活の安定を図った。</p> <p>◎一般相談：専任相談員6名を委嘱し毎週水曜日開設。相談件数39件</p> <p>◎法律相談：弁護士による専門相談。随時対応。相談件数3件</p> <p>◎薬局や寺院等の協力によるまちかど相談所の実施</p> <p>◎ふれあい相談所相談員研修会議 3月18日</p> <p>◎県南若者サポートステーション横手の出張相談をみさと福祉センターを会場に3回開催する。</p> <p>県南若者サポートステーション横手のリーフレットを全戸配布し相談機関の周知を図った。</p> <p>◎秋田若者サポートステーションと共催し、若者の居場所作り事業を実施。まめだ屋にて毎月2回第2・4水曜日開催した。</p> <p>◎相談関係機関の会議等への出席し、地域課題・連携等情報の共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仙警察署地区相談機関等ネットワーク会議 10月29日 ・仙北地域自殺予防ネットワーク推進会議 3月13日 ・配偶者暴力相談支援ネットワーク会議 8月2日 ・法テラス秋田地方協議会 10月16日 ・家庭裁判所と家事関係機関連絡協議会 2月25日 ・生活困窮者自立支援制度に係る社協連絡会 12月17日、3月11日 ・成年後見制度活用講座への参加 10月26日 ・高齢者虐待防止セミナーへの参加 10月13日 ・特殊詐欺被害防止パンフレット配布による啓発活動。 	
事業名	日常生活自立支援事業	1,064,864円
実施内容	<p>◎「福祉生活サポートセンター」を設置し専門員1名（兼務）を配置。認知症高齢者等判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用についての情報提供、利用のための手続き、料金の支払い等、日常的金銭の管理を行い安心して在宅生活を送れるよう援助し、世帯の支援を図った。</p> <p>◎10月1日利用料が改定となった、早い段階から利用者への周知により不備なく契約更新を行った。</p> <p>◎日常生活自立支援事業専門員連絡会議 毎月1回</p> <p>◎成年後見利用促進研修会 11月27日</p> <p>◎利用者数：11名</p> <p>◎延べ利用回数：125回</p> <p>◎延べ相談件数：129件</p>	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	福祉あんしん電話事業	6,494,062円
実施内容	<p>◎65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対し、あんしん電話を貸し出し不慮の事故や災害に備えた。</p> <p>◎24時間体制での相談支援や必要に応じ消防署・緊急協力員と連携し、緊急システムの整備を図り、世帯の安心安全な生活を支援した。</p> <p>◎中央受信センター（県社協）のH31年度新システム以降に向け意見交換を行った。6月11日、7月10日</p> <p>◎耐用年数を超える安心電話の年度計画による機種更新を行った。</p> <p>◎設置台数：160台</p> <p>◎通報件数：451件</p>	
事業名	配食サービス事業	#####
実施内容	<p>◎65歳以上の高齢者世帯等で、高齢、心身の障害、傷病等により調理が困難な方に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認等の見守り活動を推進した。</p> <p>◎実施曜日：干畑（火・金曜日）、六郷（水・金曜日）、仙南（火・金曜日）</p> <p>◎利用者数：164名、延べ配食弁当個数：12,070食</p> <p>◎生きがいデイサービス及び通所介護事業利用者へ昼食提供（4,694食）</p>	
事業名	一斉除排雪活動事業	231,270円
実施内容	<p>◎単身老人等を対象に地域の町民、企業、団体、学校の協力を得て一斉除雪を実施、ボランティア活動を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して冬の暮らしができるよう支援を図った。</p> <p>◎実施日：1月23日、2月13日は積雪不足の為中止</p> <p>◎除雪世帯数：47件</p> <p>◎除雪ボランティア数：延べ397名（内生徒数244名）、協力団体延べ41団体</p> <p>◎一斉除排雪活動事業検討会 11月20日</p> <p>◎仙北地区雪対策連絡協議会へ出席 7月23日、11月19日</p> <p>◎JAL地域貢献活動を支援、6世帯の除雪活動を行った。1月30日</p>	
事業名	出張理容補助券の交付	199,000円
実施内容	<p>◎常時介護を必要とする寝たきり者を対象に、衛生保持を図るべく出張理容補助券2枚交付し在宅介護支援を図った。</p> <p>◎出張理容事業検討会を開催し、理容組合加盟店減少により今後の事業のあり方について協議を行った。</p> <p>◎延べ利用人数：33名</p>	
事業名	介護用品支給事業	3,739,739円
実施内容	<p>◎在宅の要介護度4・5または特別障害者・障害児童福祉手当が支給されている方を介護している家族に対し、紙おむつ及び尿とりパットを支給し、寝たきり者の衛生保持及び在宅介護の支援を図った。</p> <p>◎利用者数：110名 ◎延べ支給人数：555名</p>	
事業名	移送サービス	447,394円
実施内容	<p>◎寝たきりの方等で、福祉車両でなければ移動できない方へ移送車両を貸出し、通院やレジャーなどの外出の支援を図った。</p> <p>◎利用件数：16件</p>	
事業名	防火点検	8,000円
実施内容	<p>◎南消防庁と協働し、単身世帯を対象に防火廻りに古びた点検を実施、火災予防に努め安全な暮らしを支援した。また、緊急情報キットの内容更新の呼びかけを行い、緊急時の対応に備えた。</p> <p>◎秋田県消防設備協会より、火災報知機未設置世帯へ火災報知器の設置により安全な暮らしを支援した。</p> <p>◎実施日： 4月4日、5日、6日 訪問世帯数 35世帯 11月7日、8日、9日 訪問世帯数 29世帯</p>	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	地域子育て応援事業	90,736円
実施内容	<p>◎社協会費を財源とする子供・子育て関連事業を実施し、若い世代へ社協のPRを図った。</p> <p>◎町内の小学校に入学する新1年生に学用品を贈り、健やかな成長を見守り応援した。 ・学用品贈呈数：平成30年度新1年生名114名</p>	
事業名	たすけあい資金貸付事業	713,854円
実施内容	<p>◎町内の低所得世帯で一時的に資金を必要とする世帯に、小口現金の貸付を行い、民生児童委員と協働で世帯の更生支援を図った。長期滞納者へは8月と3月督促状を発送した。</p> <p>◎貸付件数：15件 711,208円 ◎貸付残高3月末現在：907,920円(24件)</p>	
事業名	生活福祉資金貸付事業	585,000円
実施内容	<p>◎秋田県社会福祉協議会の運営する生活福祉資金貸付事業の業務委託を受け、低所得世帯等の資金貸付の相談や申請受付を行い、民生児童委員の協力を得ながら、世帯の更生支援を図った。</p> <p>◎相談件数：41件、申請件数：0件 ◎秋田県社協貸付残高3月末現在：10,478,189円 ◎秋田県社協現地償還指導訪問 3件訪問 7月24日 ◎生活福祉資金担当職員・民生委員合同研修会 10月29日</p>	
事業名	居宅介護支援事業	#####
実施内容	<p>◎利用者が有する能力に応じ、利用者に適切なサービスを提供する居宅サービス計画及び介護予防計画を作成し、在宅生活が継続できるよう支援を図った。</p> <p>◎携帯電話を利用した24時間連絡体制を取り、利用者の相談等に対応し支援を図った。</p> <p>◎介護保険事務所との委託契約により要介護認定調査を実施した。</p> <p>◎居宅サービス計画件数：1,935件(利用者 310名) ◎介護予防プラン作成数：681件(予防プラン310件、予防ケアマネジメント371件、短期集中0件) ◎認定調査件数：2件</p>	
事業名	訪問介護事業	#####
実施内容	<p>◎要支援・要介護状態の高齢者に対し身体介護や生活支援の訪問介護サービスの提供を行い、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援を図った。</p> <p>◎利用者数：45名(介護25名、総合21名) ◎延べ利用回数：4,897回(介護3,454回、総合1,443回) ◎実習生の受け入れ：六郷高等学校、日赤秋田短期大学</p>	
事業名	訪問入浴介護事業	#####
実施内容	<p>◎自宅浴槽での入浴が困難な要支援・要介護状態にある高齢者等に対し、簡易浴槽を自宅に持ち込み訪問入浴介護サービスの提供を行い、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう身体の衛生保持及び世帯の支援を図った。</p> <p>◎利用者数：24名(介護23名、予防1名) ◎延べ利用回数：839回</p>	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	障がい者福祉事業	2,733,390円
実施内容	<p>◎生活支援ホームヘルプサービス事業：利用者なし （65歳以上の自立高齢者を対象に家事援助・日常生活に関する支援を提供する。）</p> <p>◎障害者自立支援事業： 利用者の立場に立った適切な居宅サービスを提供、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護・家事援助・同行援護サービスにより支援を図った。</p> <p>障害者自立支援事業 居宅介護：利用者数4名、延べ利用回数250回 // 同行援護：利用者数2名、延べ利用回数 53回 // 身体障害者入浴介護：利用者数3名、延べ利用回数126回 // 障害者認定調査：調査件数0件</p> <p>◎障がい者自立支援セミナー：12月11日 ◎総合支援協議会全体会議・実務者会議</p>	
事業名	相談支援事業（障がい者・障がい児）	2,022,920円
実施内容	<p>◎障害者総合支援法と児童福祉法の理念に基づき、利用者及び保護者の意思を尊重し、利用者等の立場に立った相談及び援助を行った。</p> <p>◎特定相談支援：利用者数14名、延べ計画作成件数127件 ◎障害児相談支援：利用者数 0名、延べ計画作成件数 0件 ◎相談支援関係者ネットワーク会議：7月19日</p>	
事業名	デイサービス事業	#####
実施内容	<p>◎要支援・要介護状態の高齢者にデイサービスを実施し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援を図った。</p> <p>◎通所介護：利用者数24名、延べ利用回数 1,009回 ◎総合事業：利用者数18名、延べ利用回数 500回 ◎地域密着通所介護事業運営推進会議 11月7日、3月22日</p>	

【取組目標4：地域福祉トータルケア推進事業の強化】

事業名	フォローアップ事業	630,379円
実施内容	<p>◎トータルケア推進事業で取り組んできた地域福祉活動の事業点検を実施、住民主体の活動を支援、全ての町民が住み慣れた地域において、安全に安心して暮していけるよう地域の福祉力を高め「福祉でまちづくり」に取り組んだ。</p> <p>◎社協サポーター（福祉応援団）の登録：10名</p> <p>◎ワーキンググループの支援：はとむぎドンクラブ、いきいきパソコンクラブ はとむぎドンクラブ活動：仙南児童クラブ、まめだ屋夏祭り、後三年鴻声の里祭 いきいきパソコンクラブ活動：第15回13名、第16回4名、第17回9名</p> <p>◎おたすけマン事業の実施：延べ利用件数83件、おたすけマン登録者数8名</p> <p>◎てとての会定例会への参加、活動支援</p> <p>◎県南5市町村社協合同による地域福祉担当職員合同研修会の開催 3月22日 3名参加</p> <p>◎人材育成（各種研修会への参加） コミュニティソーシャルワーカー養成研修 1名参加 コミュニティソーシャルワーカースキルアップ研修 3名参加 コミュニティソーシャルワーカー実践研究会ブロック研修 3名参加 コミュニティソーシャルワーカー実践研究会研修 2名参加 トータルケア推進会議 4名参加</p>	

【取組目標4：地域福祉トータルケア推進事業の強化】

事業名	生活支援コーディネーター事業	2,160,000円
実施内容	<p>生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、アウトリーチを行いながら地域生活課題の把握に取り組み、多様な事業主体との地域たすけあいの安心生活の構築を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域サロン座談会でのニーズ把握 ◎おたすけマンや専門業者との情報交換等により生活支援項目やルールの整理を行った。 ◎生活支援体制整備協議体全体会議において調査結果等活動状況報告 7月、11月、3月 ◎生活支援体制整備シルバー人材センターとの情報交換 5月22日 ◎生活支援体制整備協議体視察研修 12月21日 ◎弘前学院大学による地域支えあい活動除雪ボランティア活動への調査協力 	
事業名	まめだ屋運営事業	768,874円
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎いつでも利用でき、町民同士の交流が自由にできる空き店舗活用で、閉じこもり予防、生きがいつくりを推進した。 ◎まめだ屋を会場に秋田若者サポートステーションと共催し、毎月1回第2水曜日に若者の居場所作り事業を実施。気軽に立ち寄れる若者の居場所作りを支援した。 ◎4月30日まめだ屋喫茶コーナーを終了する。 ◎まめだ屋ボランティア：12名 ◎まめだ屋活動サークルの支援：パソコン教室、手芸教室、将棋クラブ、地区ミニデイ等 ◎利用状況：利用団体14団体 ◎延べ利用人数：1,435名 	
事業名	緊急一時支援事業	52,293円
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎困窮者への現物支給や緊急貸付等の支援体制を整備、行政等の関係機関とネットワーク支援として取り組んだ。 ◎コープ東北サンネット事業連合会（仙台市）とコープフードバンク事業協定により支援体制の強化。 ◎現物支給利用者：2件 ◎コープフードバンク利用者：1件 	

【取組目標5：ともに支えあう地域づくり】

事業名	セーフティネット事業
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎認知症おたすけネットワークをはじめ、関係機関との連携によるセーフティネットワークの体制を継続した。 ◎認知症SOS状況：事前登録17名、協力企業団体104社、搜索発信1回 一斉メール配信システム利用終了に伴い、9月27日新システムへ移行する。 ◎大仙警察署と連携し、高齢者に多発する特殊詐欺被害防止及び交通事故防止の啓発を行った。 ◎町地域包括支援センターと「美郷町医療介護多職種連携」による関係機関連携のネットワークの強化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・美郷町医療介護多職種研修会 8月、10月 ◎新たな地域生活支援事業の実施に向けて、町地域包括支援センターと地域の支えあい推進について共通理解を図り体制作りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備協議体会議 7月、11月、3月 ◎新たな認知症支援事業の実施にむけて、町地域包括支援センターと地域の支えあい推進について共通理解を図り、支援体制作りにも参画する。 <ul style="list-style-type: none"> ・美郷町認知症総合支援事業検討委員会 7月、9月 ◎新たな自立支援型のケア会議のに向けて、町地域包括支援センターと地域の支えあい推進について共通理解を図り、支援体制作りにも参画する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議プロジェクトチーム会議 6月、7月 ・自立支援型地域ケア会議推進事業研修会 10月 ◎緊急一時支援について、福祉保健課と連携し支援強化を図った。 ◎コープフードバンク事業の地区担当であるコープ秋田とフードバンク事業の連携強化を図った。

【取組目標5：ともに支えあう地域づくり】

事業名	ネットワーク活動の推進	483,425円
実施内容	<p>◎地域に暮らす要援護世帯等が自立した生活ができるよう、近隣住民・関係者・団体等と連携した見守り・支援活動「一人の不幸も見逃さない運動」を推進した。</p> <p>◎毎月地区民協定例会にコミュニティソーシャルワーカーが出席、地域課題の把握と要援護者の情報共有を図った。</p> <p>◎警察署と認知症や気になる世帯の情報を共有し、訪問活動を行い世帯の支援見守りの強化を図った。</p> <p>◎福祉台帳のシステム管理、認知症SOSのシステム管理</p>	
事業名	要援護者実態調査	50,544円
実施内容	<p>◎民生児童委員の協力を得ながら、要援護者の実態調査及び生活課題（ニーズ）の把握に努めた。</p> <p>・一人暮らし等要援護者世帯調査：1回（4月）・単身世帯実態調査（通年）</p> <p>◎要援護者台帳（福祉台帳）のシステム管理</p>	
課題	<p>①職員の業務調整がうまくいかず、ふれあい訪問を兼ねた単身世帯実態調査を計画どおり行うことができなかった。</p> <p>②民生児童委員の協力による一人暮らし等要援護者世帯調査は、調査用紙を工夫し調査業務の軽減を図っていく。</p>	
事業名	在宅介護支援センター事業（千畑地区）	1,986,953円
実施内容	<p>◎身近な相談窓口として、在宅において介護が必要な方々に介護に関する相談や情報提供を行い、サービスの提供へつなぎ支援した。電話による相談受付は24時間体制をとり、相談者の問題解決に向けて関係機関との連携を図った。</p> <p>◎要介護者等の実態調査を行い問題の解決に向け、関係機関との連携を図った。</p> <p>◎身近な地域の会館等で介護教室等を開催し、介護予防に努め高齢者の自立した生活を支援した。</p> <p>◎地域包括支援センターや福祉保健課、保健センター等と相談対応の連携と情報共有を図り、多職種が連携するシステムの構築を目指した。</p> <p>◎実施事業：相談1,659件（24時間相談体制の実施） 転倒予防教室10回、健康講話1回、介護教室9回</p>	
事業名	ケア会議	
実施内容	<p>◎保健師、ヘルパー、在宅介護支援センター、社協職員によるケアマネージメント会議を開催し、あったらいいシートや利用者状況リストを活用し情報を共有、地域の問題解決の向上を図った。</p> <p>◎地域ケア連絡会に警察官も参加、要援護者の情報を共有し、認知症等への対応を強化する。</p> <p>◎地域ケア連絡会：6回（担当在宅介護支援センター：千畑2、六郷2、仙南2）場所：コートピア仙南</p> <p>◎地域ケア会議：6回（担当：地域包括支援センター）場所：役場内会議室</p> <p>◎個別ケア会議：6回</p> <p>◎自立支援型地域ケア会議：2回（担当：地域包括支援センター）場所：役場内会議室</p>	
事業名	ボランティアセンター運営事業	694,823円
実施内容	<p>◎ボランティアセンターとしてボランティアの育成・調整により活動の参加促進を図った。</p> <p>ボランティア会員研修会共催 3月18日開催 130名参加</p> <p>◎大雨や台風等が多数発生し、被害状況や要援護者の状況確認を行った。5月、9月（2回）、10月</p> <p>◎災害ボランティアセンターとしての機能・機材・災害食の充実及び人材育成を図った。</p> <p>・災害ボランティアコーディネーター養成研修への参加 2名</p> <p>◎5月の大雨による被害発生のため秋田市社協災害ボランティアセンターに延べ5日間職員を派遣し活動を支援した。</p> <p>◎広域災害福祉支援ネットワークセミナー 9月21日</p>	

【取組目標5：ともに支えあう地域づくり】

事業名	みさと福祉センターの管理・運営	#####
実施内容	◎地域福祉活動の拠点として、健康・生きがい活動の増進を図り、各種の相談に応ずるとともに生活向上のための便宜等を総合的に提供し、町民の福祉の増進を図った。 ◎経年劣化による設備の修理や入れ替え等により施設の安全に努めた。 （修理箇所：厨房エアコン入替、電気設備トランス入替、デイサービス浴槽温度センサー交換、障がい者用トイレ水漏れ修理、施設名看板修理、側溝蓋入替） ◎災害備蓄用品等を備え、避難所としての機能を整備した。 ◎利用件数：147件、利用者数：3,537人	
事業名	罹災世帯等法外援護事業	40,000円
実施内容	◎火災等の罹災した世帯に見舞金を贈り、世帯更正の一助とし支援を図った。 ◎5月の大雨や台風21号、24号、25号の発生により町内を巡回するとともに被害状況の情報収集に努めた。 ◎見舞金交付：火災見舞2件	
事業名	広報活動の推進	898,381円
実施内容	◎福祉協議会の活動内容、福祉に係る情報を提供し、社協に対する住民理解を深めた。また、朗読ボランティア「ダンボ」の会の協力を得て、視覚障害者へ声の広報をお届けした。 ◎「福祉だより」第66号、第67号、第68号、第69号を発行した。 ◎ホームページによる情報公開。	
事業名	お元気ハガキ事業	273,000円
実施内容	◎65歳以上の単身老人へハガキによる情報提供を行うとともに、見守り活動を推進した。 ◎町内各小中高校生徒による暑中見舞い、クリスマスカード、年賀状や園児の塗り絵ハガキにより異世代によるコミュニケーションを図った。 ◎延べ発送枚数：3,779枚、実施回数：年8回	

【取組目標6：組織財政基盤の整備】

事業名	理事会・評議員会・監事会	276,938円
実施内容	◎法人の方針や事業内容等を理事会評議員会において検討協議し福祉協議会の健全な運営に努めた。 ◎理事会の開催：4回（5月29日、8月20日、12月6日、3月18日） ◎評議員会の開催：2回（6月19日、3月25日） ◎監事会の開催：2回（5月16日、10月25日） ◎正副会長会議の開催：4回（5月21日、8月6日、11月26日、2月19日）	
事業名	委員会（委員会・専門委員会）	99,944円
実施内容	◎委員会（総務運営・事業推進）、専門委員会（苦情解決委員会・生活福祉資金調査委員会及びたすけあい資金運営委員会）により、社会福祉協議会の事業の進捗状況や課題等について協議、福祉協議会の健全な運営に努めた。 ◎委員会：総務運営委員会2回 事業推進委員会1回 ◎専門委員会：苦情解決委員会2回 資金貸付委員会1回 生活福祉資金調査委員会1回、 評議員選任解任委員会0回（該当事案なし）	

【取組目標6：組織財政基盤の整備】

事業名	福祉委員会議	804,445円
実施内容	<p>◎社協事業への理解を深め、福祉委員の意識高揚を高め地域福祉活動の充実を図った。 ◎福祉委員会議開催日 仙南：6月28日、六郷：6月27日、千畑：6月29日</p>	
事業名	役職員研修	53,624円
実施内容	<p>◎役員研修：役員の資質向上と組織強化を図るべく研修会を実施した。 秋田県社会福祉大会への参加 10月15日 福祉座談会総括報告 12月6日 社会福祉法人決算研修会 11月13日</p> <p>◎職員研修：職員の豊かな人間性を養うとともに、質の高い適切な福祉サービスの提供を目指し、各種研修へ参加した。また、秋田県社協からの全国研修補助を活用し、職員の資質向上を図った。 コミュニティソーシャルワーカー養成研修及びスキルアップ研修 災害ボランティアコーディネーター養成研修 メンタルヘルス講習会、メンタルヘルスセミナー クレーム対応研修、リスクマネジメント研修、苦情解決研修 エルダーメンター養成研修 法人会計実務研修 労務管理セミナー</p>	
事業名	忌明け・快気祝いハガキ印刷	150,390円
実施内容	<p>◎寄付者に対して、忌明け・快気祝いハガキを無料で印刷した。 ◎利用件数：25件</p>	
事業名	共同募金会事業への協力	
実施内容	<p>◎共同募金会事業への協力 ◎赤い羽根募金百貨店プロジェクト、赤い羽根自動販売機の設置への協力 ◎運営委員会2回、監事会1回、審査委員会1回、奉仕員会議1回 ◎平成30年度募金総額 7,118,648円 達成率103.6% ◎赤い羽根募金百貨店参加企業6社、赤い羽根自動販売機設置5箇所</p>	